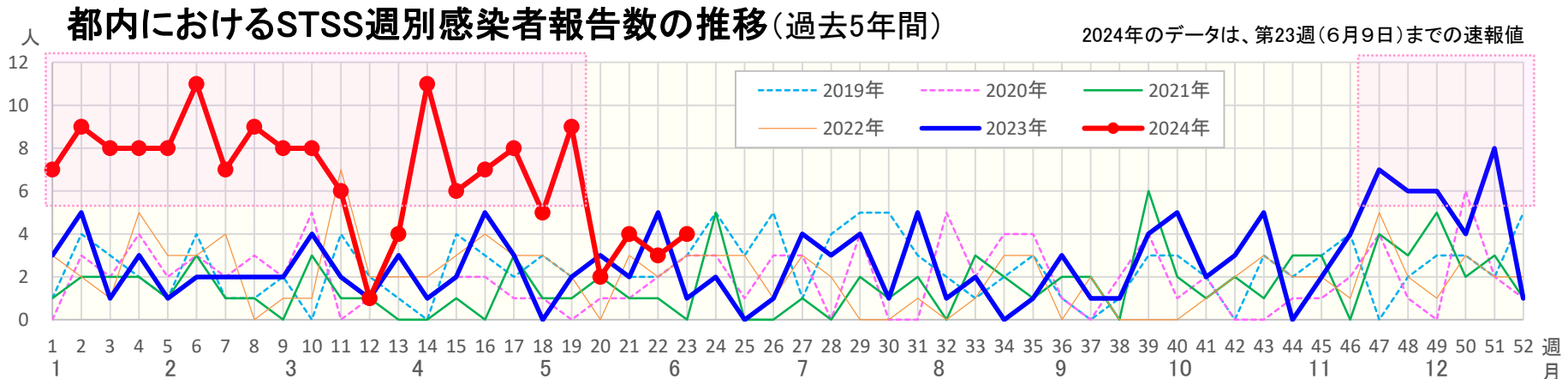
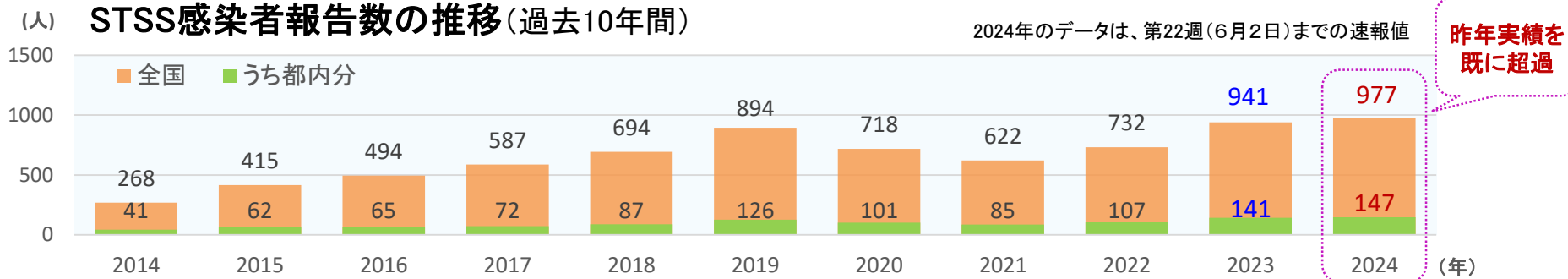


劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (STSS) への対応

参照: 国立感染症研究所ホームページ、東京都感染症情報センターホームページ

劇症型溶血性レンサ球菌感染症とは

- 病原菌は、A群溶血性レンサ球菌の他、B群、C群、G群の溶血性レンサ球菌等
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)は突発的に発症し、急速に多臓器不全に進行するβ溶血を示すレンサ球菌による敗血症性ショック病態
- 報告された感染者のうち**約30%が死亡**しており、極めて致死率の高い感染症
- **2024年の患者報告数は、過去最高だった2023年を第22週時点で超過**



劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (STSS) への対応

都の対応

- 東京iCDCの専門家から意見を聴取し各委員の知見を集積して感染の傾向等を分析

【主な意見】

- ・ 基礎疾患などの重症化因子を究明していくことが重要
- ・ 迅速適切な診断が行えるよう**医療従事者**向けの情報提供がまずは重要
- ・ **飛沫感染、接触感染**の予防をしっかりとすることが重要
- ・ いたずらに恐れず、正しく恐れ、正しい情報に基づく感染症対策、早期治療を

- ◆ 東京iCDCの分析結果を基に「東京都感染症マニュアル2018」のSTSSに関するページを更新
⇒ 医療機関向けに提供及びホームページに掲載(4/25)

主な修正項目	修正内容
感染経路	・「 飛沫感染 」及び「 接触(創傷)感染 」を追加
臨床的特徴	・初発症状に「 咽頭痛 」、後発症状に「 軟部組織病変 」を追加
病原体	・劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告数増加との関連が指摘されている「 M1uk 」に関する記載を追加
行政対応	・ 保健所で菌株を回収し、健康安全研究センターで菌株分析を行う
治療方針	「 ガンマグロブリン投与が推奨されている 」を追加

- ◆ 都民向けに飛沫感染・接触感染などの予防策をホームページに掲載(4/25)

- ・ 原因となる溶連菌に感染しない ▶ **手洗いや咳エチケット等の日常の標準予防策を!**
- ・ 手足等の傷口から感染することがある ▶ **傷口を清潔に保つ(汚れた手で触らない!)**